



日本プライマリ・ケア連合学会  
中国ブロック支部



発行人:田妻 進  
〒734-8551  
広島県広島市南区霞 1-2-3  
広島大学病院 総合内科・総合診療科  
Tel & Fax:081-82-257-5461

### <第7回 JPCA 中国ブロック学術集会を開催しました！>

2019年4月20日・21日に、鳥取県米子市で第7回 JPCA 中国ブロック学術集会（大会長：谷口晋一）を開催しました。いままでは、日本プライマリ・ケア連合学会中国ブロック支部で毎年ポートフォリオ発表会と総合診療専門研修の専攻医向けオリエンテーションを別々に行っていましたが、2019年度からその2つを同時に開催しました（それぞれの内容に関しては後述します）。今回は、全部で102名の専攻医・指導医などのみなさんに参加していただきました。来年度は同時期に岡山県での開催が決定していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください！

4月20日（土）14:00～18:00

○ポートフォリオ発表会 企画運営：朴大昊（鳥取大学），太田茂（藤井病院）

ポートフォリオ発表会では、①発表・質疑応答を通じポートフォリオを吟味する、②ポートフォリオを仕上げるきっかけ作りを得る、を目標に開催しました。専攻医試験のポートフォリオ提出締切が差し迫る中、合計19題の発表申込みをいただき、1題は指導医の先生からもご発表いただくことができました。今回は、3つの優秀賞を設定しました。最優秀賞の「沈思黙考賞」が広島大学亀谷貴浩先生の「抑圧環境で不登校になった男児の感情を引き出すことで自己肯定感の改善に取り組んだ事例」、失敗をもとに大きく成長した「七転八起賞」が仁寿会加藤病院向田千夏先生の「休日外出中に入院患者の急変・死去を経験し、主治医のあり方について振り返った事例」、プレゼンの魅せ方が優れた「創意工夫賞」が広島大学池田晃太郎先生の「攻めのACP ～やらなきゃ意味ないよ～」となりました。年々、ポートフォリオのレベルが上がっており、聴衆から鋭い質問があり討議が盛り上がっていました。



20日（土）の夜、懇親会を開催しました。総勢58名もの先生方にお集まりいただき、米子市内の居酒屋で行いました。広島大学小林先生にご発案をいただき、「中国5県+α対抗パワポカラオケ大会」企画を実施しました。中国5県と兵庫県から1名ずつ代表の先生に、ランダムに指定されたテーマとまったく脈絡のない4枚のスライドに合わせて3分間の即興プレゼンを行っていただき、会場は大盛り上がりとなりました。

4月21日(日) 9:00~12:00

○専攻医オリエンテーション 企画運営：櫻井重久（鳥取市立病院）、松本翔子（宇部興産中央病院）

今年度のオリエンテーションでは、新しく専攻医となった先生方のネットワーク形成と不安の軽減を目的として企画しました。

前半は各県から専攻医2年目以降の先生方を1名ずつプレゼンターとしてお招きし、それぞれの研修での工夫やキャリアについてお話しいただきました。離島での研修、結婚出産を経て研修を継続している様子、若手でありながら地域を背負っている姿、家庭医らしい家族ケアを実践している様子、アイデンティティクライシスを乗り越え、ロールモデルと出会ったお話しなど、5人5色の発表でした。これから研修を始める先生方が、いろんな研修のやり方や生き方があることを知ってもらおう機会となりました。

次にグループワークを行い、研修に役立つツールについて各研修先でのアイディアを共有し、その後キャリアや専門医制度について疑問点や不安な点などをざっくばらんに話し合いました。時間が足りない！という声が多数ありもっと話したいという雰囲気でした。

最後に松下明先生（奈義ファミリークリニック）から専門医制度の現状についてお話をいただきました。現時点で決まっていること、決まっていないことを提示いただき、今後の見通しやキャリアについてのアドバイスもいただきました。閉会後も連絡先を交換する輪がたくさんできており、ネットワーク形成の場として成功したと思います。



## ○指導医向け講習会 企画運営：懸樋英一（鳥取市立病院），遠藤彰（渡辺病院）

内容は、教育理論・5microskills・フィードバックをテーマに行いました。教育理論では、経験学習サイクルについて掘り下げて学び、それを踏まえて 5microskills・フィードバックでは講義とロールプレイを行いました。シナリオは「現場あるある」を意識して構成しており、悩みながらも楽しく実施することができたと思います。全体的には、ロールプレイ後の議論の時間が短かったようで、時間に余裕を持たせると良かったと思いました。それでも、皆さん講義を参考に白熱した議論をしていただき、少しでもお役に立てたのかなと感じております。

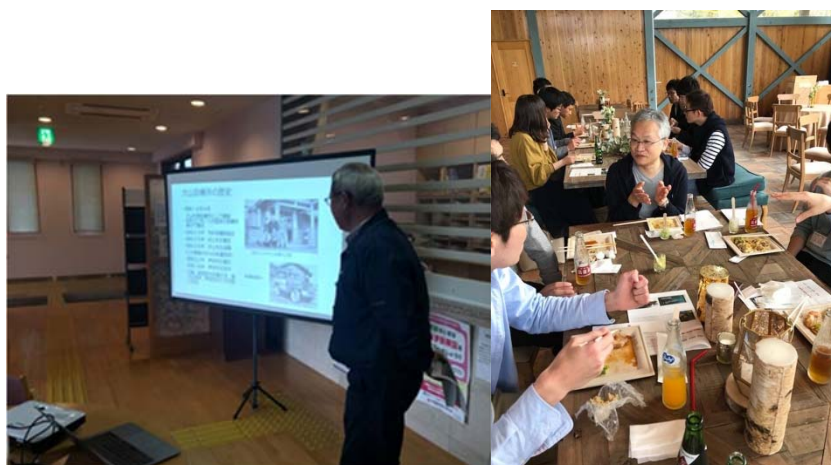


学術集会が終了後、鳥取県大山町にある大山診療所でサイトビジットを行いました。大山診療所は2019年4月から鳥取大学家庭医療教育ステーションとしてリニューアルされ、家庭医療専門医が鳥取大学から派遣され常駐するようになりました。それを機に、今回サイトビジットでの訪問を実施しました。

本会終了後の疲れが残る中、大山の麓にあって飲食店や観光資源も比較的豊富なエリアで、皆でランチを食べました。（意外に？）おしゃれな雰囲気にも圧倒される参加者が多かったように思います。

その後大山診療所に移動し、診療所の存続運動などを行なってきた“まちづくり大山”の杉谷さんに地域住民から見た診療所や医療への想いを語っていただきました。それに引き続いて朴大昊所長から大学家庭医療部門が地域にサテライトステーションを持つ意義と戦略についてお話しさせていただきました。

合計17名の参加者からは、大学と町の雇用関係やエリア独特の医療事情に関する質問が相次ぎ、お互いに学びの多いサイトビジットになったように思います。



**m-HANDS-FDF 2019 第1回の報告書**

## 中国ブロックでの指導医講養成の報告

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック・松坂内科医院 松坂英樹

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

## 【m-HANDS-FDF】

(modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship)

JPCA-MLなどで募集して中国地方の指導医6名が全5回のコースに参加されています。6名はそれぞれ3人ずつのチームを作り、模擬ティーチングなど協同して行ってもらいます。以下に全体の概要と実際参加された指導医からの報告の一部を掲載しますのでご一読ください。2020年度も同じような枠組みを予定しています、ご興味のある方はご相談下さい。

---

**<目的>**

中国ブロックの指導医養成

**<対象>**

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を修了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

**Core Competence : Adult Educator (成人学習支援者)**

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる

**第1回 島根大学医学部にて開催 2019.9.7-8****1日目****・オリエンテーション/アイスブレイク/FD概論**

オリエンテーションとして m-HANDS の意図を FD 概論を交えながら説明を受けた。その後アイスブレイクとして「自分にとっての教育」というテーマについてレゴブロックを用いて作品を作り、作品についての解説をグループ内で行った。緊張をほぐすとともに各々のチームメンバーの個性を感じることができた。

**・employability と employmentability**

employability=どんな点にその人の魅力を感じるか、 employmentability=どんな点にその組織の魅力を感じるか、という点を”大人の学び方”および”組織の学び方”と一緒に学んだ。FD=employabilityのある人材を育てる employmentabilityのある組織を作ることという説明から mHANDS に参加した意義を再確認した。

### ・私の主張とプレゼンテーション

フェローが仕事以外で勧めたいことをプレゼンするセッションでした。利き手の興味を引き、伝えたいことを伝えるためにいかにポイントを絞ることが重要か、またその難しさを学びました。今回の学びを振り返り、リターンズに向けて準備を進めていきたいです。

### ・外来教育 フィードバック&5MS

フィードバックと5MSについてのレクチャー後に、ロールプレイを行いました。大切なことは「相手の現状をしっかりと把握する」という部分だと思った。把握できていれば、できている部分を認めることができるし、できていない部分を修正することができる。どちらにせよ、責め心がある中では相手に入りにくいことも実感した。また、相手がフィードバックを受け入れる準備ができる様に、「ちょっと今の手技について振り返ってみよう」「アドバイスしてもいいかな？」という様な「枕詞」を活用するという考えは秀逸で、明日の診療から使えそうだと思った。

### ・ファシリテーション

事前課題でファシリテーションの基本的項目を自己学習した後、本セッションでは効率的なカンファレンスを行うためのファシリテーションを実際におこなった。特にファシリテーションを進めるにあたってキモになる「発散」と「合意形成」のステージにフォーカスをあててワークを行った。親和図を用いるとうまくいきやすいという手ごたえを得ることができた。

### ・チームビルディング

チームビルディングの概要を学んだ後、参加者6人の人差し指にタンバリンを乗せ下ろすゲームに挑戦した。メンバーの息が合わず、途中で失速した。その後、リーダーを決め、作戦会議を開き2回目に挑戦した。1回目に比較して進むことができ、チームとしての成長を感じることができた。

## 2日目

### ・OBE&構成主義&医学教育のエビデンス&EPA など

OBE や構成主義、医学教育のエビデンスについてポイントを絞り説明を受けた。また2023年問題、EPAs 等最近のホットな話題について触れた。その後効果的な学習と研修転移について、自己主導型学習について学んだ。自分にとって今まで馴染みのない分野であったが、ポイントが分かりやすく興味深く聞くことができた。

### ・カリキュラム開発

カリキュラム開発のモデルや評価のモデルを学習したあとに、グループでワークを通して実際にカリキュラムの開発を行なった。ワークの指定時間内で完成形には至らなかったが大まかな流れやポイントの理解ができた。また事前学習で理解が不十分であった点が整理でき、今後習得すべき事項に関しても認識できた。

## ・シネメデュケーション

シネメデュケーションの内容やメリット・デメリットについて学んだ後に、「時計じかけのオレンジ」「I am sam」を観て、どのように感じたか、教育とつなげて考えるとどのような意味があるだろうかなどを考えた。フェローそれぞれで捉え方や考え方が異なり、その異なりが自分自身の考え方を深めることに繋がった。

(今後の予定)

第2回 in 米子 10月26日(土) - 10月27日(日) 本家 HANDS の岡田唯男先生来米

第3回 in 宇部 11月30日(土) - 12月1日(日)

第4回 in 岡山 1月18日(土) - 1月19日(日)

第5回 in 広島 3月1日(日)

見学も可能ですので興味がありましたら、ぜひご連絡ください。

質問等ありましたら、[hdk@matsuzaka@gmail.com](mailto:hdk@matsuzaka@gmail.com) までお問い合わせください。

集合写真など





